

部局名	財務部	所属名	財政課	所属長名	相馬 清彦	電 話	483-1151 内線3310
-----	-----	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3513		事務事業名称	市債管理基金積立金						短縮コード	経常		臨時	3513
予算区分	会計	01	一般会計	款	12	諸支出金	項	01	基金費	目	06	市債管理基金費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法第241条，八千代市市債管理基金条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
基金の運用から生ずる利子を積み立てる。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために							
景気は回復基調にあるものの，基金現金の利回りが1％にも満たない状況の中で，歳出面での負担増が懸念されており，市の財政を取り巻く環境は依然として厳しい状態にある。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進							
					中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立							
					小項目（施策）	02	健全な財政運営の推進							
					細 項 目	03	長期的な視点に立った財政運営							
				実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市債管理基金							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 基金利子の積立							
	※平成19年度に計画していること： 基金利子の積立							
意図 （何を狙っているのか）	市債の償還及び市債の適正な管理に必要な財源を確保する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	財政計画を踏まえた中で，長期的な視点に立ち，財政需要の変化に柔軟に対応できる財政運営に努める。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市債管理基金現在高	千円	2,578	2,578	2,580	2,588	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	基金取崩額	千円	0	0	0	0	
	指標2	市債管理基金積立額	千円	1	1	2	8	
	指標3							
成果指標	指標1	市債管理基金現在高	千円	2,578	2,578	2,580	2,588	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3513	事務事業名称	市債管理基金積立金				所属名	財政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		財源の状況を見極める必要があるため、今年度の事務事業評価では現状のまま継続とした。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
				☐ その他				
				☐ 廃止				
			☐ 休止					
			☒ 現状のまま継続					
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			市債の償還にかかる経費を節減することは、将来債務の増大につながりかねない。計画的な償還を行うことが、健全な財政運営を行っていくために不可欠である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市債借入額の抑止に努め、将来債務を見据えた財政運営に努めてほしい。									

所属長コメント	将来の財政負担圧力を抑制し、計画的償還財源の確保を図るためには、当該基金の醸成に努めることが必要となるため、事業の意図，方向性とも適切と考える。 なお，財政調整基金と同様に運用の三原則である①安全性・確実性，②有利性，③流動性の確保が必要である。										
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			担当課の評価を支持するが，課題を検証して効率性を検討していくべき。							
	☐ 手法プロセスの改革・改善										
	☐ 事業規模の拡大・縮小										
	☐ 統合・役割見直し										
			☐ その他								
			☐ 廃止								
			☐ 休止								
			☒ 現状のまま継続								